

平成26年4月28日

## 原料費調整制度に基づく平成26年6月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成26年6月検針分の単位料金を、平成26年5月検針分に比べ、1m<sup>3</sup>(45MJ)につき0.79円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成26年1月～平成26年3月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に32m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成26年5月検針分と比較して、25円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成26年6月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月の ご使用量	料金表A 0～20m <sup>3</sup>	料金表B 21～80m <sup>3</sup>	料金表C 81～200m <sup>3</sup>	料金表D 201～500m <sup>3</sup>	料金表E 501～800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,026.00	1,198.80	2,062.80	6,382.80	12,430.80
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	172.25	158.21	156.05	151.73	143.09	135.53
(参考) 5月 調整単位料金	171.46	157.42	155.26	150.94	142.30	134.74

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成26年 5月	平成26年 6月	増減
適用料金(円/月)	6,063	6,088	25

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成25年12月～平成26年2月の平均 (5月検針分)	平成26年1月～平成26年3月の平均 (6月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	89,040	89,900	860
LNG	88,100	89,060	960
LPG	107,440	106,200	▲1,240
基準平均原料価格(b)	82,470		
差額(a-b)	6,500	7,400	900

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 89,060 && \times 0.9545 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 106,200 && \times 0.0461 \end{aligned}$$

89,903.59

↓(10円未満四捨五入)

89,900 円/t

##### ■原料価格変動額の算定

$$89,900 \text{ 円/t} - 82,470 \text{ 円/t} = 7,430 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

7,400 円/t

##### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 7,400 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.08748^*$$

$$= 6.47 \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て})$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成26年 5月	平成26年 6月	増減
適用料金(円/月)	6,063	6,088	25

#### ・標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,026.00円)

+ 調整単位料金(151.74円) + 6.47 (円) × 32m<sup>3</sup>

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑単位料金調整額(税込)

・本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（82,470円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.08748円（0.081円に1.08(消費税)を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が131,950円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は131,950円としてガス料金の調整を行います。